

附属高等学校 1・2 年生の皆さん、安倍首相の要請を受けた金沢大学の決定により、本校は 3 月 2 日より長期の臨時休校の措置を取りました。皆さんは、いかに過ごしていたでしょうか。

私の 36 年間の附属高校生活の中でも、もちろん初めてのことで、先生方の迅速、機敏適切な対応により 24 日をもって無事に臨時休校を解除することができ、25 日から補習を実施、部活動を認めることにしました。しかし、世界を見渡せば、新型コロナウイルスは益々猛威を振るい、国内においては比較

的抑えられてはいるものの、いつ感染者の爆発的拡大が起こるかもわかりません。自らの行動を自重し、まずは手洗い、うがい、換気を励行してください。不特定多数の人が集まり、換気の悪いところで活動することは厳に慎んでください。



さて、世界はこれまで様々な感染症に襲われてきました。日本でも、奈良時代に流行した天然痘は、大きく政局に影響しました。また、開国とともにコレラが蔓延し、さらに国際貿易が盛んになると、チフスや赤痢が多くの人を奪いました、また、大正末のスペイン風邪でも多くの人亡くなりました。これらに対して、日本では市町村ごとに隔離病舎を設置されたり、上下水道を整えたり、様々な衛生管理の仕組みを作ってきました。また、北里柴三郎はペスト菌を発見するとともに破傷風の血清療法を開発し、志賀潔が赤痢菌を発見しました。

現在、多くの企業では、新型コロナウイルス対策として在宅テレワークや時差出勤を導入しています。学校においてもインターネットを介しての学習にも工夫を凝らされています。Zoom Video Communications なるツールを用いて、教員と生徒が集団面談することも可能になりました。実際、本校教員もこれを試していました。1 年後には、世の中の働き方や学び方が大きく変わっている可能性があります。

ピンチを機に、新たな道具や仕組みが導入され、新たな価値観が生み出されます。人類は有史以来様々な困難を乗り越えて進化してきました。今は、我慢の時かもしれません。

そのような中で 73 回生は 2 年生になります。生徒会の中心となります。運動会、スポーツ大会、歌の祭典、開港記念祭りなどの生徒会行事を中心となって運営します。72 回生はいよいよ受験の本格的な準備に入ります。目の前のことにしっかり取り組むことは重要です。しかし、同時に大切なことは、このような時代に自分に何ができるのか、今の自分ではなく、未来の自分が。そのためにどのような研鑽を積みばいいのか、どのような人間力を身につければいいのかを考えることです。

最近、テレビの情報番組で感染症の専門家として本校 30 回生がしばしば登場しています（女性ではなく男性の方です）。本校の学校目標は「国際社会や地球生態系の共生者として、個性豊かな文化の創造者として、積極的に自己の責任を果たして行く人間力を育てる」です。諸君には、是非とも自らの能力・資質を磨き、世の中に貢献する人間となってもらいたい、と思います。